



ようがの学び舎 責任 誇り 信頼

# SDGs の研究報告

～2・3 年度の研究成果をふまえて～

教育目標：自立 敬愛 精励

令和5年3月吉日  
ようがの学び舎  
世田谷区立用賀中学校

用賀中学校は令和 2・3・4年度世田谷区教育委員会「研究協力校・SDGsベーシックプログラム」を受け SDGs (持続可能な開発目標) についての研究を行ってきました。この用賀中SDGs研究報告は本校生徒、本校保護者、学び舎関係者、地域、世田谷区および研究を支援いただきました皆さま方に報告し還元するものです。

## I 目的

SDGs (持続可能な開発目標) について学ぶとともに、夏休み自由研究の取組内容を中心に、令和2年度は「SDGsの目標14・海の豊かさを守ろう」令和3年度は「SDGsの目標12・つくる責任 つかう責任」令和4年度は「世田谷から海を学ぶ」～持続可能な SDGs の用賀中教育計画～をテーマとしました。

## II 課題設定の理由

SDGs (持続可能な開発目標) については、企業やマスコミ等では様々な場面で使われることが多くなってきていますが、学校では本格的に学ぶ機会は多くはありません。そこで学校全体で総合的な時間を中心とし、自由研究を主体として SDGs についての学びを始めました。

令和2年度の課題設定は「SDGsの目標14・海の豊かさを守ろう」でした。この設定理由として、日本は四方を海に囲まれた海洋国家であり、海産物をよく食べることが挙げられています。特に昆布等海草を食用する少ない民族の一つです。本校は海沿いでもなく海に関しては知識の少ない生徒が多いので、食育等の観点からも海洋について知識を広めたいというものでした。

令和3年度の課題設定は2年度のテーマに加え「SDGsの目標12・つくる責任 つかう責任」でした。「次世代のエネルギーを利用した交通手段について学習すると同時に、企業がエネルギー削減をどのようにされているのか、また、環境にやさしいアンモニア燃料等次世代エネルギー開発にも学ぶというものでした。

令和4年度の課題設定は、「世田谷から海を学ぶ」としました。そして令和2・3年度の研究成果をもとに、この SDGs 研究で培ってきた人材交流を含めた財産を生かしていくために、各学年の教科の学習内容や時期を考慮しながら、どのようなテーマがどのような時期にどのような教科と関連させるのか、「持続可能な SDGs の用賀中教育計画」を考察することを副題としました。

## III 報告方法

本研究は、次の様々な方法で説明し報告いたします。

○概要 ○2次元コード (QR コード) による (説明、文書、映像) ○生徒の感想 ○資料

## IV 研究内容の経緯



2年度 研究の内容

3年度 研究の内容



## V 研究協力者及び参考文献 (研究協力者の記述順は活動の時期順です)

- 研究協力者
  - 世田谷区教育委員会事務局・教育研究・研修課様、世田谷区環境政策部様
  - 海洋教育パイオニアスクールプログラム様
  - JAMSTEC海洋研究開発機構様 ○日本財団・海なぞ実行委員会様
- 参考文献
  - 蟹江憲史 『SDGs (持続可能な開発目標)』 中央公論新社
  - 苅谷剛彦 『コロナ後の教育へ オックスフォードからの提唱』 中央公論新社
  - 交通エコロジー・モビリティ財団 モビリティ・マネージメント教育 東洋館出版
  - SDGs START BOOK 制作・発行 東京書籍株式会社

## VI 報告

### 1 SDGsを知る【1年】

- ・17のゴールについて調べ学習
- ・新聞の作成 ・プレゼンテーション  
(クラス発表、学年発表)



### I 自由研究・SDGsについて調べ学習を行う

令和2・3・4年度(1年または2年) (実施時期7月～)

#### ①概要

夏休みの課題としてSDGs新聞づくりの自由研究を行い、10月に学級での発表を経て学年での発表会を行いました。その後、総合的な学習の時間の一環として、SDGsについて学習を進めました。インターネットや図書室にある本などを利用して調査し、まとめました。



#### ②夏の課題・SDGs新聞

#### ③発表パワーポイント・生徒発表映像

夏の課題

SDGs新聞

発表パワーポイント

生徒発表映像



### 2 海洋問題について学ぶ【2年】

- ・JAMSTECとの連携
- ・「しんかい6500」の役割
- ・海洋プラスチック問題についての講演



### 2 「JAMSTEC (海洋研究開発機構) の遠隔授業」 令和2・3・4年度(2年) (実施時期 2学期または3学期)

#### ①概要

職業としての研究者の仕事及び、海洋プラスチックについて「JAMSTEC (ジャムステック)」の方に遠隔授業の講義をしていただきました。深海探査船「しんかい6500」の説明や水深数千メートルの海底にもプラスチックが沈んでいる等の情報をわかりやすく説明していただきました。



### 3 西表島のヤマネコパトロールについて学ぶ【3年】

- ・西表島、イリオモテヤマネコの理解
- ・イリオモテヤマネコの保護活動について



## 3「西表島・ヤマネコパトロール活動」の遠隔授業

令和3・4年度(3年) (実施時期10月～)

### ①概要



Zoom を活用しての遠隔授業が体育館で行われました。昨年度に続いての講演会となります。講師はJTEF 西表島支部・ヤマネコパトロール、事務局長 高山 雄介様でした。JTEF トラ・ゾウ保護基金は、野生の生きものの立場に立ってその世界を守るという理念のもとに生物多様性を保全し、その活動を通じて人の豊かな自然環境を守る非営利、非政府



府の団体です。ヤマネコパトロールの活動は、東洋のガラパゴス=西表島に生きる 100 頭のイリオモテヤマネコを、交通事故から守ることで

上記の2次元コードは講演の冒頭の様子

### ②生徒の感想



●私は、西表島の方からお話を聞いて、西表島は、イリオモテヤマネコを始めとし、西表島でしか見られないような動物が沢山生息する、自然が豊かなゆったりとした島だと知りました。同じ日本でも、私達が住んでいる場所とは全然違い、新たに知ることが沢山ありました。

### 4 海洋環境について学ぶ【1年】

- ・海遊館、黒潮実感センター
- ・「人と海とが共存できる場所一里海」について



## 4 海洋環境改善について学ぶ

令和2年度(3年) 令和4年度(1年) (実施時期2学期)

### ①概要

海なぞ実行委員会・実行委員長の大嶋 麻沙美様、制作総指揮の小川 幸也様のご尽力によりSDGs「海の豊かさを知ろう」というテーマで日本財団による「海と日本のプロジェクト」に参加し、大阪にある水族館の海遊館の職員の方々とのICTによる遠隔授業を行いました。パ

ワーポイントで、現地の様子を写真や動画を通して知ることが出

てきました。

### ② 2次元コード 遠隔授業映像



### ③生徒の感想



■ジンベイザメが全長12mであんなに大きいことが、とても驚きました。また、プラスチックのせいで生物が絶滅の危機に追い込まれているのだと知り、自分もゴミをしっかりと分別をし、ポイ捨てをしないように、日々心がけていこうと思いました。



■海洋プラスチックが、人間、そして海の生き物に影響を与える恐ろしさについて再確認ができました

## 5 若者環境フォーラムへの参加【2年】

- ・ 気候危機問題を知る
- ・ 取り組み事例の意見交換（代表生徒）
- ・ 環境に配慮した行動について考える



## 若者環境フォーラムに生徒会が参加しました

令和2・3・4年度（生徒会）（実施日時 10月）

### ①概要

世田谷区環境政策部 環境・エネルギー施策推進課、特定非営利活動法人ビグッドカフェの運営により「若者環境フォーラム」に用賀中学校・生徒会が参加しました。開催概要は以下です。

(ア) 目的: 若者たちが主体となって気候危機問題について議論し、一人ひとりが「自分事」として捉え、環境に配慮した行動変容にどうつなげていくかを考える機会として本フォーラムを開催する。

#### (イ) 当日の運営

時間	内容
15:05～15:08	【オープニング(ご挨拶)】 世田谷区長 保坂 展人(ビデオ出演)
15:08～15:20	団体紹介、「気候危機問題に関する最新の情勢や海外での取り組みなどについて」
15:20～15:25	多摩美術大学「産官学民の連携プロジェクトについて」
15:25～16:52	パネリスト: 世田谷区立用賀中学校、千歳中学校 SDGs 子ども勉強会プロジェクト、慶應義塾湘南藤沢高等部 環境プロジェクト 東京都市大学 ISO 学生委員会、Green Sophia
16:52～16:55	世田谷区からの講評(環境政策部長)

#### (ウ) 用賀中の発表と協議会



② 次元コード 用賀中 SDGs取組の発表

② 次元コード 協議会での発表

### ③生徒の感想



#### ■生徒会副会長

僕は、「若者環境フォーラム」を聞いてゴミ箱にゴミの分別のポスターを貼っていることがとても良いと思いました。ゴミの分別について捨てる場所ではないところで「ゴミを分別しましょう」と、かかれていても、捨てる時に忘れることがあるからです。また、他の意見を聞いて、一人ひとりが意識してくれることが大事で、そのためになにをすることが大切なのかを考える必要があるのではないかと思います。



#### ■生徒会副会長

私は違う視点からSDGsを学び、考えることができました。その中で特に印象を受けたのはミートフリーという取り組みです。これは肉を食べることで、その動物を育てるのに必要なエサや、それを作る資源も消費してしまうので、肉の消費量を減らそうというものです。このように普段何気なくしていることが問題の原因だったり、逆に問題解決に繋がっていたりすると知れたので、今後様々な視点からSDGsを捉え深めていきたいです。

## 6 各教科での学習

- ・家庭「フードマイレージ」など
- ・英語「Animals on the Red List」
- ・理科「エネルギー」「生態系」「環境」

12 つくる責任  
つかう責任



### 6-1 「フードマイレージ」について学ぶ

令和3・4年度(1年) (実施時期 11月~1月)

#### ①概要

家庭科の授業で、衣食住の「地域の食文化」の単元から、環境のために取組める事として「フードマイレージ」や環境について学び、地産地消についても学習を進めました。そして「フードマイレージ」が地球に与える影響や連鎖により起こることまでを考えてみました。

#### ②2次元コード 生徒の感想



### 6-2 電気自動車等についての授業

令和3年度(2年) (実施時期 3月)

#### ①写真・説明文



SDGsの学習の一環として「電気自動車」について学習しました。はじめに教員が「電気自動車」の仕組みやメリットを講義しました。その後、校庭に出て「電気自動車」の実物を聞きながら見学しました。最後に各クラス数名の生徒が試乗しました。

#### ②概要

世田谷区は7年前に三菱電気自動車より、電気自動車を7台購入し所有しています。通常は区の職員の移動手段として使用されているのですが、今回特別に区の車両課よりお借りました。生徒たちは理科の授業「電流」の分野で、モーターの回転原理、発電機の原理を学んでおり、その原理が利用された「電気自動車」を実際に体験することで理解が深まりました。

#### ③生徒の感想



■電気自動車はメリットだけだと思ったが、デメリットもあって驚いたとともに興味をもった。特に電気を供給するときに二酸化炭素が発生するのは本末転倒だと思う。他にもバッテリーに期限があったり、充電できる場所が限られていたり、ガソリンで走る自動車よりも利便性は劣ると思う。地球温暖化や、環境のことだけでなく、使いやすさについても考えなければならぬと思った。

## 6-3 航空機についての Zoom 出前授業

令和3年度(3年) (実施時期 3月)

### ①説明文

ジェット機のSDGsについて理解を深めるための学習をしました。新型コロナウイルスのため、今回はJALのキャビンアテンダントの方によるZoomでの出前授業でした。はじめに、日本航空という会社の説明や飛行機を飛ばすためにたくさんの協力が必要であること、キャビンアテンダントの方の訓練等を説明していただきました。そして、最新ジェット機の省エネ化の工夫や、SDGsを考慮した機内サービスの変更等も教えていただきました。



### ②概要

日本航空では、学校への出前授業「空育®」を行っており、今回はキャビンアテンダントの仕事と会社のSDGsの取り組みについてお話しいただきました。なお、会社の方針で、授業のパワーポイントや映像は公表を控える要請がありました。

### ③生徒の感想



■私もJALは利用したことはありますが、SDGsにこだわったりしていることなど、くわしいところまではふだん聞いたことがなかったので、また利用する機会があれば、細かいところまで注目してみようと思います。

■CAさんたちは、私たちのためにフライト前の打ち合わせなどの努力をしていることを知りました。とても勉強になりました。



■僕は一度も飛行機に乗ったことがないので、CAがどのような仕事をするのか全然知りませんでした。お客さんのために頑張っている事を具体的に知ることができました。その中でもSDGsの話が、現在自分もSDGsについて考える授業を受けているので興味深かったです。

■普段は関わりのない客室乗務員の仕事について知ることができました。その中でもSDGsに関わっていることには驚きました。そして「最高のバトンタッチ」というチームワークは自分の生活にも取り入れられると思いました。

## 6-4 「アイシティ eco プロジェクト」より表彰状の贈呈

令和2・3・4年度

### ①概要

用賀中学校では「アイシティ eco プロジェクト」に賛同し、使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収活動を行っています。3年度、空コンタクトレンズケース重量 16.05kg、個数 1万 6050個を提供し表彰状をいただきました。売却代金は日本アイバンク協会へ全額寄付されます。長年にわたる皆様のご協力に心より感謝いたします。なお、感謝状の贈呈は学校長が、生徒を代表して保健委員会委員長へ行いました。



### ②生徒の感想(保健委員長)



保健委員会の活動である、エコプロジェクトにご協力いただきありがとうございます。「エコプロジェクト」というものは、使い捨てコンタクトレンズの空のケースを回収し、資源化する、というリサイクル活動です。そのため、エコプロジェクトは社会貢献に繋がっているなど、授業内で学んだSDGsの内容にも関連します。本人はもちろん、家族や身近な方で使い捨てレンズを使用されている方がいらっしゃいましたらご協力ください。

## 6-5 廃材を使って幼児のおもちゃをつくろう

令和3・4年度(3年)(実施時期 9月)

### ①概要

家庭科「幼児の分野」で学習の最後に幼児のおもちゃの製作を行いました。廃材を使用し、幼児が安全で楽しめるおもちゃ製作しました。幼児にとって、本来、様々なものがおもちゃになります。お金を払って買うおもちゃもとても楽しいですが、普段何気なく捨ててしまっているものでも幼児が楽しめるおもちゃは作れるのか、実際に作ってみました。製作したおもちゃは、使用時の安全性を確認後、区内幼稚園に寄贈しています。



### 7 その他

- ・世田谷の野鳥 ・絶滅危惧種
- ・コーヒーの2050年問題【全学年】



## 7-1 世界の絶滅危惧種についての学習

令和3・4年度(3年)(実施時期 9月)

### ①概要

3年英語科では1学期に「Learning Science in English」と題し、食物連鎖 (food chain) や生態系 (ecosystem) について英語で学びました。その学びを踏まえ、1学期の終わりから2学期にかけて世界の絶滅危惧種について学びました。教科書本文にて国際自然保護連合 (IUCN) が絶滅危惧動物についてまとめたレッドリスト (Red List) から世界の多くの動物が絶滅の危機に瀕していることを学びました。

### ②学習内容



### ③生徒の感想



## 7 その他

- ・世田谷の野鳥
- ・コーヒーの2050年問題【全学年】




## 7-2 「絶滅が危惧されるコーヒーの木を救え!」の講演 令和4年度(1年2年)


### ①概要

「絶滅が危惧されるコーヒーの木を救え!」というテーマで、湘南DV防止センター瀧田 信之様、橋本 佐紀子様により講演をしていただきました。コーヒーはコーヒーベルトという温帯地域の比較的標高の高い地域栽培されます。午前中は雲が広がり霧が出て、午後は日差しが強くなります。しかし、この数十年の温暖化の影響により 2050 年にはコーヒー栽培地域は半減すると言われています。温暖化により、今までいなかった害虫や病気が増えていくのが大きな要因です。また、大雨や干ばつなどの被害も増えています。下記の2次元コードは講演内容の一部です。



### ②生徒の感想

 僕は、コーヒーとSDGsが関係していると聞いた時、正直「何を言っているのだろう」と思いました。けど話を聞いて、様々なSDGsの目標と結びついていることを知り、とても驚きました。僕や、僕の家族はコーヒーを美味しく飲んでいます。そのコーヒーは農家の人が時間をかけて作ってくれたものです。さらに子供を働かせていることで十分な教育を受けられていなかったり貧困があったりSDGsに関わる問題がたくさんあることがわかりました。だから、コーヒーを飲むときはSDGsの問題があるにもかかわらず働いていることに深く感謝して飲みたいと思いました。

 今回の講演を経て、コーヒーがSDGsと深く関わっていることを知り、コーヒーの見方が変わりました。話を聞いていてとても難しい問題であるなど思いましたが、私たちにできることは、募金をしたり、コーヒーについて調べる等、少しでも力になれることがあるかと思います。力になれることを探し、協力出来たらなど思いました。また、これからコーヒーを飲む時には、今回学んだことを思い出しながら感謝して飲みたいなど思います。

## VII SDGs研究の感想

① 生徒感想映像 2次元コード

② 職員の感想・校長の御礼映像 2次元コード

③ 生徒感想文 2次元コード

